

8. 大麻町板東地区

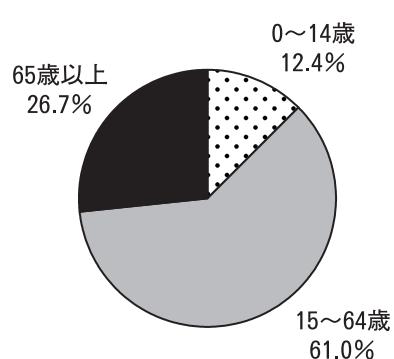
8-1 現状

〈人口〉

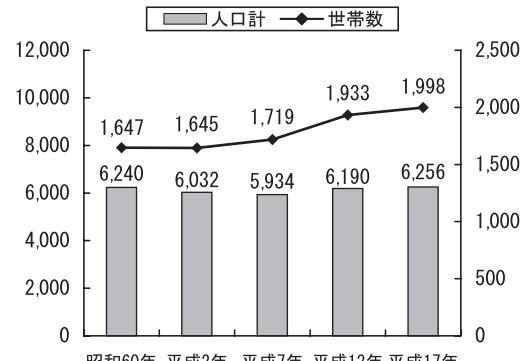
比較的人口規模のある板東、桧、萩原地区のうち、萩原地区は昭和45年頃から、桧地区では平成7年頃から人口が増加しています。その他の集落地では、横ばいからやや減少で推移しています。この地域の人口は全体として緩やかに減少しており、老人人口が25%を超えるなど、少子高齢傾向も見られます。

人 口	6,566 人	世 帯 数	2,701 世帯
世帯あたりの人数	2.4 人／世帯		
年 齢 别 人 口	年少（0～14歳）	812 人	12.4 %
	生産年齢（15～64歳）	4,003 人	61.0 %
	老年（65歳以上）	1,751 人	26.7 %

※世帯数・人口：平成22年3月末現在住民基本台帳登録人口



年齢別人口割合（平成22年3月末住民基本台帳）



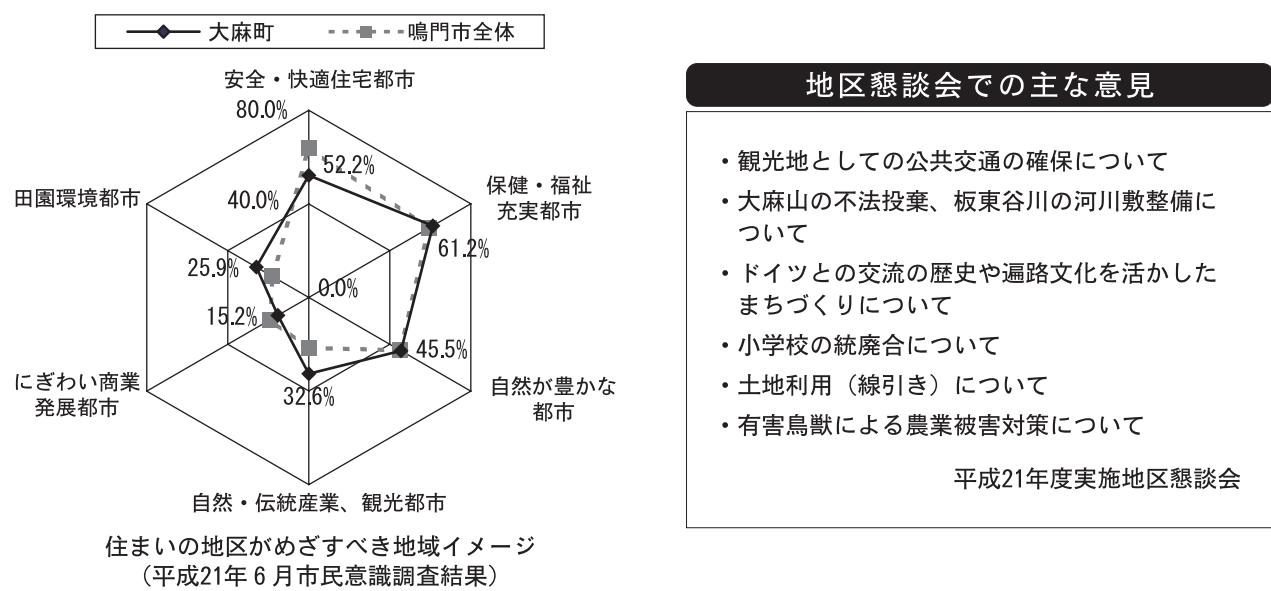
人口と世帯数の推移（国勢調査）

〈土地利用・市街地整備・都市施設・公共交通〉

- 本地区は、市の西部に位置し、北に山林が広がり、南の平野部に農地が広がり最南部に旧吉野川が流れ、藍住町、板野町に隣接しています。
- 板東地区の一部が市街化区域となっていますが、地区のほとんどが市街化調整区域で、南部の農地では、水稻、はっさく、柿、れんこん等が栽培されています。
- 県道鳴門池田線や撫養街道沿いを中心に、住宅・商店が集積し、市街地が形成されています。近年、桧地区のリューネの森の大規模住宅地開発により、戸建て住宅が建設され、道路網が整備されるなどの環境変化が見られます。
- 都市公園としてドイツ村公園の整備を進めており、ドイツ兵俘虜との交流の歴史を伝えるドイツ館を中心に、関連施設の保存活用が進められています。
- 四国霊場札所靈山寺・極楽寺、大麻比古神社など歴史的文化的な施設が多数あり、多くの観光客でにぎわっており、地域住民による景観向上や地域活性化の取り組みも行われています。
- 北部の山林部は大麻山県立自然公園に指定され、旧吉野川、板東谷川、樋殿谷川が流れています。水と緑の豊かな地域です。
- 四国横断自動車道が整備され、鳴門西パーキングエリアが設置されています。
- JR高徳線、徳島バス、中心市街地方面と板野駅を結ぶ鳴門市営バスが運行されています。

8-2 課題

- ①歴史的・文化的な地域資源を活かし、鳴門市西部の観光拠点として、堀江地区と一体となった観光拠点整備が必要です。
- ②市街地とその周辺の既成集落については、住環境の整備を図るとともに、市街地の無秩序な拡大を抑制する必要があります。
- ③藍住町・板野町に隣接しており、生活利便性が高い地域ですが、農地が多いことから無秩序な開発を抑制し、集団的な農地の保全を図る必要があります。
- ④山林部では、無秩序な乱開発の防止に努め、自然環境や景観の維持保全を図る必要があります。
- ⑤サル・イノシシなどの野生生物による農作物への被害が見られます。



8-3 地域づくりの基本目標

以上をふまえて、地域づくりの基本目標を

- 豊かな自然環境や地域の歴史、伝統、文化を活かした観光拠点のまち
- 商業、農業と住宅がバランス良く調和した快適な住環境のまち

とします。

8-4 基本構想

(1) まちづくりの拠点

①文化・観光の拠点

ドイツ村公園周辺は、緑豊かな都市公園、ドイツ館を中心にドイツとの交流の歴史を伝える地域資源のネットワーク化を図ることにより、文化・観光の拠点として整備を推進します。

四国八十八箇所の1、2番札所である霊山寺、極楽寺周辺、さらに、撫養街道沿いの地域について、歴史的な街並みや建築物を活かした文化・観光の拠点形成を推進します。なお、四国遍路については、四国四県が共同で「四国遍路八十八箇所霊場と遍路道」を世界文化遺産候補とする動きがあり、さらに、地域が「新たなる公」として遍路文化や地域資源を活かしたコミュニティづくりに取り組むなど、歴史文化を活かしたまちづくり活動が活発になっており、市民との協働による文化・観光の拠点形成を推進します。

大麻地区を鳴門市西部の観光リゾート拠点として位置づけており、歴史文化を活かした文化・観光拠点として板東地区と堀江地区とのネットワーク化を図ります。

②交通拠点

鳴門西パーキングエリアは、鳴門公園地区からの観光客の流入を見込めるところから、交通拠点として位置づけ、スマートインターの導入等の施設整備について検討を進めます。

(2) まちづくりの軸

①広域軸

四国横断自動車道が既に完成しており広域軸を形成しています。

②地域軸

隣接する市街地へのアクセス道路として、県道桧藍住線が完成しており、これを含む県道徳島北灘線、鳴門池田線を地域軸として位置づけるとともに、大麻西地区農免道路の整備を図ります。

③水の軸

樋殿谷川・板東谷川は、護岸・河床整備を行います。このうち、板東谷川については、ドイツ村公園内を流れていますが、既に護岸整備が進んでいますが、花畠等の適正な維持管理に努めることにより、親水空間の利用を図ります。

④歴史・文化の軸

撫養街道沿いには趣のある建物が残されており、周辺には観光拠点も多くあることから、堀江地区と連携しつつ、地域の実情に沿った景観づくりに対する検討を進めます。

8-5 土地利用の方針

①住居専用ゾーン

水と緑が多い良好な住宅地が提供されていますが、今後も比較的低密度で良好な住宅地としての土地の有効利用を図ります。

②一般住居ゾーン

県道鳴門池田線沿いを中心に商店も立地し、生活利便性の高い地区ですが、住宅と商業、農地の混在した土地利用となっているため、市街地の無秩序な拡大を抑制しつつ、周辺環境に配慮した快適な住宅地としての土地利用を進めます。

③近隣商業ゾーン

撫養街道沿いの市街地は、周辺地域の生活の拠点として機能するよう歴史的な街並みに配慮しつつ、市街地環境の整備を推進します。

④農用地ゾーン

今後も農用地としてより一層の生産性向上を図るため、必要な基盤整備を推進します。農用地周辺の集落地については、環境との調和を図りながら、今後も農業者の生活の場としての機能が十分に維持されるよう集落のコミュニティの維持を図ります。

⑤都市緑地ゾーン

ドイツ村公園周辺は、周辺の自然環境との調和を図りつつ、都市公園として必要な整備を推進します。

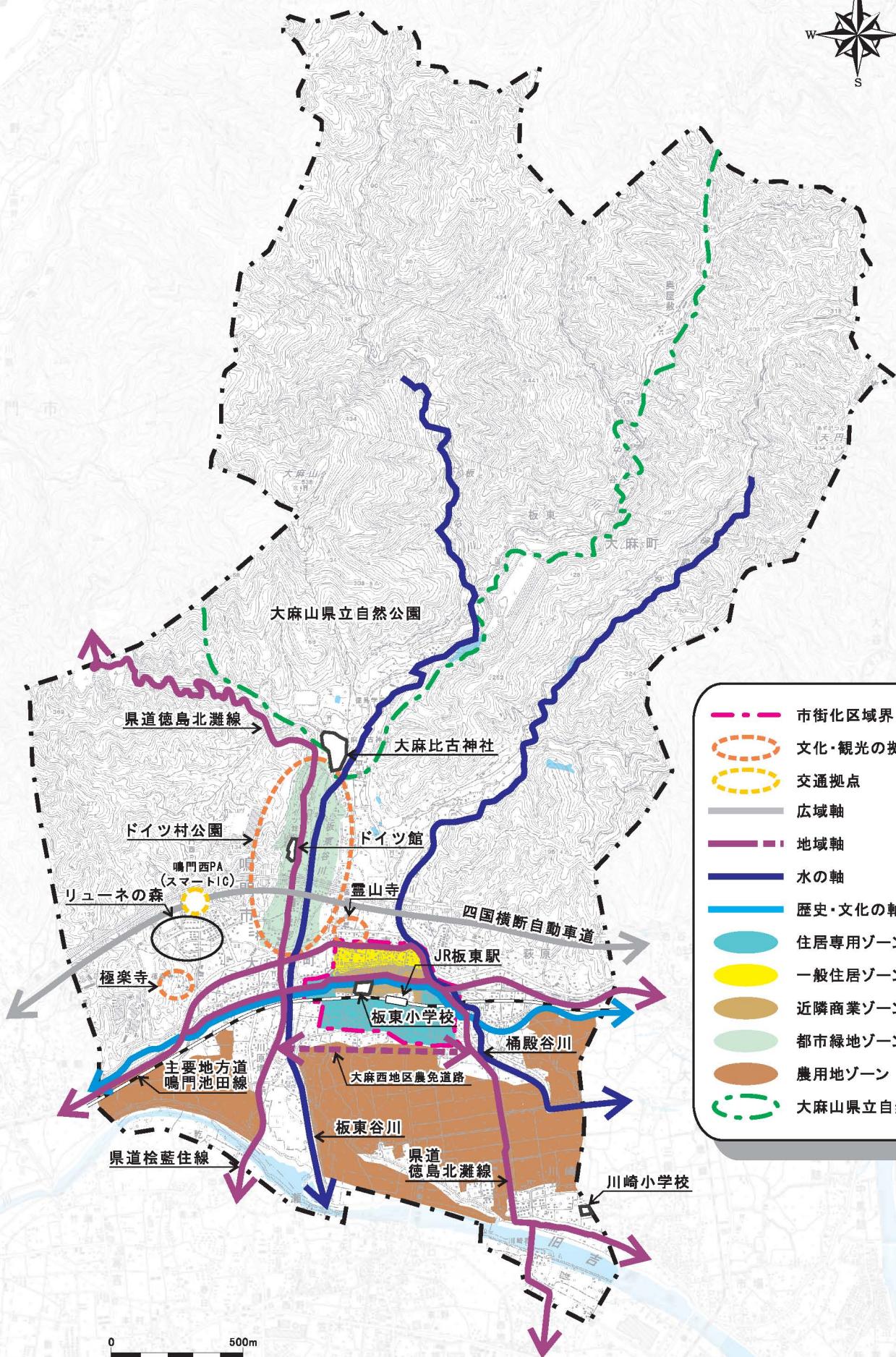
⑥山林ゾーン

本地区の北側の山林部は、大麻山県立自然公園など緑豊かな森林が残されていることから、自然環境や景観の維持保全を図るため、乱開発の防止に努めます。

8-6 防災・生活環境その他特記事項

- 地区の南部は、藍住町から市街化が進んでいることから、長期的な視点で土地利用の検討を進めます。
- 比較的規模の大きい農地に、れんこん、水稻・果樹などが栽培されており、水が豊富で特徴的な農の景観の保全と活用を推進します。
- 鳴門市汚水処理構想に基づき、公共下水道（汚水）の整備を推進します。

大麻町板東地区



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平22業複、第228号）